

第 25 回 東京大学生命科学シンポジウム開催報告

令和 8 (2026) 年 6 月 19 日 (金)、20 日 (土) に、東京大学浅野キャンパス 武田ホールにおいて、第 25 回東京大学生命科学シンポジウムが開催されました。

昨年度に引き続き、今回のシンポジウムでも講演会、若手ワークショップ、ポスター発表を対面形式で実施しました。12 名の若手研究者による口頭発表 (若手ワークショップ)、226 題のポスター発表、2 名の先生による最先端の研究成果の講演、そして懇談会が行われました。また、19 日 (金) 夕刻には、第 20 回から継続している「高校生と大学生のための金曜特別講座」とのコラボレーション企画として、磯部祥子教授 (農学生命科学研究科) による講演「DNA でたどるイチゴの謎」がオンライン配信にて実施されました。



金曜特別講座 (オンライン配信)

本シンポジウムは、東京大学の学生を含む生命科学に関わる研究者同士の交流の場であると同時に、一般の方々にも東京大学で行われている研究の成果を広く発信し、生命科学への理解と関心を深めていただくことを目的とした啓発活動でもあります。今回のシンポジウムには、学内外の学生・研究者・一般の方をあわせて約 350 名の来場があり、盛況のうちに終了いたしました。また、15 の企業から広告協賛をいただきました。

若手ワークショップでは、12 名の若手研究者による口頭発表が行われました。マクロからミクロに至るまで、幅広い分野の最新研究成果が発表され、活発な質疑応答が行われました。

ポスター発表では、武田先端知ビル 5 階のホワイエおよび武田ホールを会場とし、コンパクトながらも効率的な構成で実施しました。会場内では終始活発な議論が展開され、研究交流の場として非常に有意義な時間となりました。学生・研究員のポスターを対象として審査が行われ、214 演題の中から 14 名の方が優秀ポスター賞を受賞されました。また、前回に引き続き企業ポスターコーナーも設置され、多くの参加者の関心を集め、好評を博しました。

講演会では、2 名の先生による最先端の研究成果のご講演 (「食の嗜好性とその変化～これから何を食べるかを決定する心理メカニズム～」: 喜田聡先生 (農学生命科学研究科)、「遺伝子発現の時空間ダイナミクス」: 深谷雄志先生 (定量生命科学研究所)) が行われ、白熱した議論が展開



若手ワークショップ会場



ポスター会場

されました。

来年度も、引き続き第 26 回東京大学生命科学シンポジウムを開催する予定ですので、みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

最後に、ご協賛いただいた企業・団体の方々、ご講演いただいた講演者の先生方、座長の先生方、ポスター審査員の先生方に、心より感謝申し上げます。

若手ワークショップ：6月20日（土） 9:05～11:05

W01：Seed dispersal ecology of ginkgo biloba: multiple dispersal modes ensure the persistence of seed dispersal

イチョウの種子散布生態：複数の散布様式による種子散布の維持

添田 透真（理学系研究科 生物科学専攻附属植物園）

W02：Diversity of subtelomeric sequences and TERRA expression in primates

山本 唯央（総合文化研究科 広域科学専攻）

W03：Microglia-to-astrocyte cytokine signaling drives astrocyte morphological remodeling in mesial temporal lobe epilepsy

内側側頭葉てんかんにおけるマイクログリア-アストロサイト間のサイトカインシグナルがアストロサイトの形態変化を駆動する

宮田 一馬（薬学系研究科 薬科学専攻）

W04：Ribosome ubiquitination decoder Def1 stabilizes codon-optimal mRNA

佐藤 二千翔（医科学研究所 RNA 制御学分野）

W05：骨格筋細胞の成熟を制御するシグナル経路の解析と筋疾患への応用

牧野 巧（農学生命科学研究科 応用生命化学専攻）

W06：A Scalable Platform for Whole-Organ and Whole-Body Single-Cell Analysis Toward the Establishment of 3D Pathology

三次元病理学に向けた臓器・全身の全細胞アトラス

吉田 将太（医学系研究科（付属病院） 病理診断学・人体病理学）

W07：Structural basis for atypical antagonism of LPA1 by inhibitory antibodies

LPA1 阻害抗体における非典型的阻害機構の構造基盤

金田 翔太 (理学系研究科 生物科学専攻)

W08：エダアシクラゲにおける加齢に伴う組織恒常性と再生能低下機構の解析

金久 礼武 (薬学系研究科 遺伝学教室)

W09：匂いによるマウスの持続的な防御状態を支える神経メカニズムの解明

木下 翔誠 (理学系研究科 生物科学専攻 分子神経生理学研究室)

W10：A Novel Approach to Enhance Cancer Immunotherapy Targeting the Lipid Mediator PGD₂

脂質メディエーターPGD₂に着目した、新しいがん免疫療法増強法の提案

林 亜佳音 (農学生命科学研究科 放射線動物科学研究室)

W11：Analysis of Morphological and Mechanical features in Hippocampal Neuronal Nuclei during Aging

加齢に伴う海馬ニューロン核の形態学的・力学的特徴の解析

小畑 凜果 (定量生命科学研究科 分子神経生物学研究分野)

W12：Multi-layer trans-omics unveils the black box of biocompatibility

多層オミクスで解き明かす生体適合性のブラックボックス

岡田 寛之 (医学系研究科 (付属病院) 疾患生命工学センター臨床医工学)

ポスターセッション：6月20日(土)

11:30～12:45 (セッション1)、14:00～15:15 (セッション2)

226 演題 (学生・研究員・教員)

企業ポスター (2社の協賛)

株式会社エービー・サイエックス SCIEX

株式会社 Gakken



ポスター会場

講演会：6月20日(土) 15:30～16:30

「食の嗜好性とその変化～これから何を食べるかを決定する心理メカニズム～」

喜田聡先生 (農学生命科学研究科)

「遺伝子発現の時空間ダイナミクス」

深谷雄志先生（定量生命科学研究所）

ポスター賞受賞者（14名）

岡本 大雅（医科学研究所）

平林 良太（工学系研究科）

浅野 祥太郎（医学系研究科）

林 亜佳音（農学生命科学研究科）

中西 優（工学系研究科）

塩野 晋之介（医学系研究科）

宮田 一馬（薬学系研究科）

Guinto Mark（定量生命科学研究所）

坂本 詩恩（理学系研究科）

平塚 大輝（医学系研究科）

辻村 和樹（工学系研究科）

安西 諒祐（薬学系研究科）

牧野 巧（農学生命科学研究科）

角田 優伍（新領域創成科学研究科）

主催

東京大学生命科学ネットワーク

共催

東京大学

東京大学生命科学技術国際卓越大学院プログラム

高校生と大学生のための金曜特別講座

協賛企業一覧 (50音順)

アサヒクオリティードイノベーションズ株式会社ネクストビバレッジ研究所

株式会社池田理化

Umios 株式会社

株式会社エービー・サイエックス SCIEX

株式会社 Gakken

キッコーマン株式会社
株式会社ケミカル同仁
株式会社コロナ社
株式会社 島津製作所
長瀬産業株式会社
ナカライテスク株式会社
日本電子株式会社
株式会社松見科学計測
有限会社山本薬品商会
株式会社羊土社